

「聖地巡礼」に関心をもつ日本人や訪日外国人。
地域の経済発展やブランド化に大きく貢献する
コンテンツツーリズムの今後を分析する。



新・コンテンツツーリズム論 I

〔観光行動篇〕人はなぜ物語の地に向かうのか

ISBN : 9784880655840 A5判 276頁 定価2,920円(税込)

清水 麻帆 著

“約束の地”への期待に胸おどらせる。

フィクションと現実、2つの世界を往還する旅行動、
コンテンツツーリズム(コンツー)が世界で注目され
ている。

アニメから発し独自の発達を遂げた日本でのコンツー
を中心に、台頭めざましい東アジア勢の日本への影響、
世界に向けた産業化の可能性を大胆に切り取る新著。

【目次】

- 第1章 日本型コンテンツツーリズムの特徴と意義
- 第2章 なぜ所縁の地を訪れるのか
- 第3章 ツーリズム行動の実証分析
- 第4章 文化とシンクロする物語世界
- 第5章 東アジアにおける市場と再帰性
- 第6章 日本市場の行方

【著者】清水麻帆(しみず・まほ)

文教大学国際学部教授。立命館大学大学院政策科学研究
科博士後期課程修了、博士(政策科学)。立命館大学助手、
日本学術振興会特別研究員(PD)、大阪市立大学G-COE
博士研究員、大正大学助教などを経て現職。専門は文化経
済学・地域経済学・都市政策論。社会活動・外部委員とし
て、文化経済学会〈日本〉理事、コンテンツツーリズム学会
常務理事など。2013年に日本都市学会の論文賞受賞。



水曜社
suiyosha.hondana.jp

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-31-7
TEL.03-3351-8768 FAX.03-5362-7279

全国の書店・大学生協・ネット書店などでお買い求め下さい。

